

地球規模保健課題解決推進のための研究事業（日米医学協力計画）
「日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募」
事後評価 課題評価委員会における主な指摘事項

研究開発課題名	古典的・新興サイトメガロウイルス関連ぶどう膜炎における眼内ウイルスタンパク UL40 多型と宿主免疫応答 / Variation of human cytomegalovirus (HCMV) UL40 and immune responses in classic and emerging HCMV-associated ocular diseases.
研究開発機関	九州大学 大学院医学研究院
研究開発代表者	八幡 信代
研究期間	令和 2 年 9 月 15 日から令和 4 年 3 月 31 日

○評価委員会コメント

強み：

- 当初予定していた研究計画内容をほぼクリアした成果が得られている。CMV UL40 のシグナルペプチドの Class-I restricted アミノ酸の多様性とアジア人の HLA allele の双方から解析で、CMV と眼疾患における新たな知見が得られた。総合的にみて研究期間の間に予想を超える研究結果が得られたと考える。
- 興味深い研究であり、本事業の日米医学協力計画の観点でも、今後の進展が期待される。
- 今後高齢化が進むアジア地域での眼疾患の病態解明と、それに続く治療法開発などへの指針となり得る重要な知見が、日米医学協力の枠組みの中で得られたと考えられる。米側と緊密な連携が取れており、両者の解析結果から、新たにアジア人の特徴的な病態解明への提案につながっている。

弱み：

- 同一個体における血中および眼中 CMV の比較についての記載が不明瞭である。
- 本研究成果が病態・機序解明に結びつくかについては今後の課題である。